

## 27 生野 幸 さん

Saki Shono



北勢

株式会社 JSK (四日市市)  
専任宅地建物取引士

事業所  
株式会社 JSK  
三重県四日市市大字西阿倉川 1085-1  
http://jsk-gp.com  
従業員数：16名

業種  
リフォーム業・不動産  
業・クリーニング業・  
マンション管理業



### Profile

- ・34歳の時に ADHD と診断される
- ・社長に促されテレワークを提案
- ・誰もが働きやすい会社へ導く
- ・目指すは“にじいる”の社会実現

### 講演・相談可能分野

- 仕事と家庭の両立 育ボス
- 人材育成 障がい者雇用 起業
- NPO 設立 多文化共生
- 地域資源活用 防災
- その他 (キャリアアップ・キャリアデザイン  
離職率の改善・働き方改革の提案)

### 講演実績

## 「私の使命」

### 特性を生かす働き方を社長に提案

これまで退職は6回、原因はいつも人間関係の悩み。生野さんは、リフォーム・修繕業を営む株式会社 JSK で事務員として働いていた34歳の時に、ADHD (注意欠如・多動症) と診断を受けました。「JSK も居辛く、退職を考えた日もありました。それを引き止めてくれたのが齋藤稜助社長です。『どうしたら生野さんの持ち味を生かせる?』と、仕事を続ける道がないか問いかけて下さいました。そこで生野さんは思案しました。「1人でも完結する仕事がしたい。そのためにどうしたらいいか。以前に取得した宅地建物取引士の資格を生かし、不動産事業の立ち上げやテレワーク (在宅勤務)、業務連絡への SNS の導入などを提案しました。

### テレワーク導入で他の社員も働きやすく

生野さんの提案に、社長は「ええやん!」と二つ返事で快諾。2016年に、生野さんひとりの部署が始動しました。社長は「テレワークはニュースで見る新しい働き方。社員の皆が、きっと便利になると思いました。テレワーク導入決定後は、社内の書類や図面をすべて PDF にデータ化しました。これにより、現場技術者が出先からでも図面や書類を確認できるように。特に社長が驚いたのは、求人募集だったと言います。「テレワーク可」と記すと、予想以上の応募が来てビックリしました。建築業界は慢性的な人手不足。求人募集にも特別な予算が必要だったのに」。生野さんが提案したテレワークは、会社にも良い効果をもたらしました。

## 私流リーダーシップ

### 誰もが輝く“にじいる”の町を目指して

生野さんの新しい仕事は、主に不動産の売買。商談へは時に直行直帰し、申請書類の提出や物件調査は我が子を背負い出かけます。1人の仕事を「快い状態」という生野さんは、明るさを取り戻しました。「会社がユニバーサルデザインに変わったのだから、町全体もできるはず」。生野さんは誰もが輝ける“にじいる”の社会を目指し、フリーペーパーの制作・発行や、イベント開催にも着手。そこでは自身が ADHD であることを公表し、理解や協力を呼びかけています。公私ともに仕事が増えた生野さんですが、元気は十分。「これも ADHD の特性の一つ、“過集中”です。デキる人と見られがちですが、他が見えなくなります。理解してもらえたら嬉しいです。

### 心の変化によりチャンスも協力者も UP

自身のリーダーシップについて「今まで皆無だった」という生野さんですが、齋藤社長と働き始めてから、変化があったといいます。「私は“できない人”を責めるのに、社長は“できない私”を黙って見守ってくれます。人への共感を、社長から学びました」。フリーペーパーの発行やイベントの開催では、今や多くの協力者が集まるように。また ADHD の公表により、仕事でも良い縁ができたとか。「物件売買の商談に、発達障害やパニック障害などの悩みやハンディを抱えたお客様も来て下さるようになります。同じような背景があると思ってメールを下さいました」。誰もが輝く“にじいる”の町を目指す生野さんは、自らの手で夢を着実に前進させています。

(取材時：2018年11月)

### こんな講演・相談に対応できます

- 社会的弱者のための職場改善
- 発達障害を持つ人の特性や働き方
- ユニバーサル就労のアイデア

### お問い合わせ先

三重県 ダイバーシティ社会推進課  
TEL：059-224-2225  
WEB：http://www.pref.mie.lg.jp/katsuyaku/index.htm

WEBは  
ここから

